学校だより

平成３１年１月９日

1月 かわい

横浜市立川井小学校
校長　　藤田　優

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawai/

～明けましておめでとうございます～

校長　藤田　優

新年明けましておめでとうございます。平成３１年亥年がスタートしました。イノシシの意味で亥ですが、イノシシと言えば「猪突猛進」。目標に向かって、まっしぐらに突進していく、そんな勢いのある年にしていきたいものです。川井小学校におきましても、今年度残りの３か月を充実させ、平成３１年度、元号が替わって元年となる年、更なる飛翔の年としていきたいと考えています。今年もよろしくお願い申し上げます。

「相づち」

昨年の流行語大賞で北海道弁の「そだね」が大賞になりました。とても受容的な相づちなので、話し手に安心感を与え、その場にいい雰囲気をもたらすのでしょう。そのことが2018年2月の平昌オリンピックで、女子カーリングチーム「ＬＳ北見」を応援していた人にもよく伝わったのだと思います。

相づちは、コミュニケーションの場では聞き手が用います。聞き上手であることは、コミュニケーションの重要要素なので、心理学で効果が実証されている相づちの「さしすせそ」や「あいうえお」などがあります。（＊）しっかりと耳を傾け、話し手の感情に共感したときに使われることで、相手とのつながりをより確かにしてくれます。

「安心と信頼」

共感して聞いてくれるというつながりは、安心と信頼を生みます。子どもたちにとっては特に大事で、安心と信頼でつながった人間関係にあることで、自分への自信を、未来への希望を育むことができます。

「子どもと日々接している大人は、『全人類の代表として』、その子どもに影響を与えていることを意識しなければいけない」という言葉があります。年の始めにあたり、日頃のやりとりを再度きちんと整えて、教育活動にあたっていきたいと思います。ご家庭、地域でのご支援、ご協力もよろしくお願いいたします。

心理学で効果が実証されている相槌の「さしすせそ」と「あいうえお」

相槌の「さしすせそ」
さ：さすが（承認欲求が最も満たせる相槌）
し：実力ですね（成功者と友人になれる相槌）
す：すごい（自己重要感を満たす相槌）
せ：絶対（是認欲求を満たす相槌）
そ：そうですね（人間関係の基盤をつくる相槌）

相槌の「あいうえお」
あ：ありがたい（感謝の相槌）
い：いえ、いえ（最も使い勝手のいい相槌）
う：運が悪かったですね（相手の気持ちを救う相槌）
え：縁がありますね（強い絆を生む相槌）
お：恩を感じます（深い感謝を表す相槌）

＊超･相槌 心理学の権威が教える人生が劇的に変わるコミュニケーションスキル:文響社:斎藤　勇

1年　川井宿保育園との交流会

川井小学校では、川井宿保育園との交流を通して学習を行っています。１回目は９月に、２回目は１１月に行いました。

【１回目】
① はじめのことば
② 一緒に歌おう
③ 給食の準備・いただきます
④ 給食を一緒に食べよう
⑤ ごちそうさま・おわりのことば

レベルアップ！

【２回目】
① はじめのことば
② 歌の発表「３びきのこぶた」
③ ゲームで遊ぼう
④ 球根をうえよう
⑤ おわりのことば

【２回目の様子】

１回目の交流会との違いとして、子供たちに会の役割の分担をしました。自分たちでやってみたいという自我の伸長を感じました。司会、はじめのことば、歌の説明、おわりのことばは、子どもたちが行いました。事前の練習からも、みんなのやる気を感じました。

ゲームでは、じゃんけんゲームを行いました。一人３枚のカードを持ち、相手を見つけてじゃんけんをする、勝ったら１枚もらう、といった園児も参加できるゲームです。自分から相手を見つけて声をかけることができるので、ゲームをきっかけに多くの子と交流することができました。１年生にとっても、園児にとっても楽しい交流会となりました。

2年　ズーラシア写生大会

本校とズーラシアとの連携事業の一つとして、２年生がズーラシアで写生大会を行いました。

今年は、「日本の里山ゾーン」にて、日本の動物を鑑賞しました。

ズーラシアの担当者から、動物の特徴についてレクチャーを受け、その特徴を捉えて見たままの動物を描こうとしました。

よい天気のなか、楽しく真剣に取り組むことができました。

3年　ケアプラザでの交流

12 月にデイサービス利用者と 2 度目の交流を行いました。11 月の交流をふり返り、うまくいったこと、いかなかったことをそれぞれのクラスで話し合いました。それを生かしてグループごとに計画、準備を進めてきました。

当日は、喜んでくれているお年寄りの様子を見て、うれしそうに活動している子どもたちの姿が見られました。

6年　たてわりクリーン作戦

11 月 29 日、たてわりクリーン作戦が行われました。6 年生を中心に活動する最後のたてわり活動でした。事前準備を万全にして、一人一人が悔いの残らないよう一生懸命に取り組みました。

下級生に自分から声をかけたり、時刻を気にしながら活動を進めたりと、次回から活動を引っ張っていく５年生のお手本になる姿が見られました。

クリーン作戦は、６年生が中心となってやる最後のたてわりだったので、がんばりました。すると、みんな細かいところまでそうじしてくれました。他にも、隅をそうじする人たちが、低いところを下の学年ができるように考えてしてくれていたので、うれしかったです。次のたてわり活動からは、５年生が中心となので、がんばれてよかったです。

クリーン作戦の計画はちゃんとしてあったので、大丈夫だと安心していましたが、当日は指示がうまく伝わらず、掃除が中途半端になってしまいました。少し落ち込んだ気もちで教室に戻ると、班の子が「６年生お疲れさま。」と声をかけてくれました。班長としての自信をなくしかけていたけれど、「がんばろう」という気もちにさせてくれました。とてもうれしかったです。